



PRESS RELEASE

2026 年 7 月 14 日
東経連ビジネスセンター

マーケティング・セールス戦略支援事業の新規採択について

東経連ビジネスセンター（以下、東経連BC／会長 佐々木 裕司：（一社）東北経済連合会副会長）は、「マーケティング・セールス戦略支援事業（観光事業特別支援枠）」として、「一般社団法人 先行くローカル Joetsu」を新たに支援することとしましたのでお知らせいたします。

同法人は、上越地域の企業・団体・行政が連携し、「上越高田浄興寺大門通りスクエア」を核とした地域資源の活用により、観光を軸とした事業創出と地域活性化を目的に設立されたものです。昨年度、東経連BCで実施した大島グループへの同スクエア事業への本支援により、回遊ルートの整備やブランド構築、情報発信基盤の整備が進み、来街者数の増加など一定の成果が見られています。

一方、さらなる成長に向けては、企業・団体向け視察需要（BtoB）の獲得、情報発信力の強化、回遊性向上による滞在消費の拡大といった課題への対応が求められています。

今回の支援では、これら課題の解決に向け、BtoB 視察プログラムの設計・商品化およびターゲット戦略の策定等のマーケティング支援に加え、回遊促進ツールの整備や Web 機能強化などの販促支援を実施し、観光事業としての収益基盤のさらなる強化を図ります。

本取組は、民間主導による地域再生モデルとして、地方都市における持続可能な観光・交流拠点の形成に資するものであり、今後の横展開も期待されます。

東経連BCでは、本支援を通じて地域の「稼ぐ力」の向上を図るとともに、域外との交流促進や産業創出につなげ、地域経済の活性化に貢献してまいります。なお、本支援事業の採択件数は、今回の 1 件を加え、累計 51 件となります。

また、今回の案件は本支援に今期から新設された「観光事業特別支援枠」（P10Ⅲ－6. 参照）での採択第 1 号となります。

記

支援先	支援テーマ	所在地
一般社団法人 先行くローカル Joetsu	地域連携による滞在型観光交流エリア「上越高田浄興寺大門通りスクエア」事業開発	新潟県 上越市

■リリースに関するお問い合わせ先

【お問合せ先】
東経連ビジネスセンター 佐藤 健智
〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-9-10 セントレ東北 11 階
（一般社団法人 東北経済連合会 事務局内）
tel. 022-397-9098 fax. 022-262-7055
<http://tokeiren-bc.jp/>

（一社）先行くローカル Joetsu 庄山 武志
〒943-0823 上越市西城町 2-10-25
tel. 025-524-1110 fax. 025-525-7067
<https://joetsudaimondori.jp/>

以 上



■(一社)先行くローカル Joetsu (新潟県上越市/代表理事 庄山 武志 氏)

- ・支援テーマ:地域連携による滞在型観光交流エリア「上越高田浄興寺大門通りスクエア」事業開発
- ・支援期間:令和8(2025)年7月～令和9年(2026)年6月末(1年毎に審査会で確認を実施し、最長3年まで継続可能)
- ・支援先概要:上越地域に関わる企業・団体・行政を連携し、地域が抱える課題の解決と持続可能な社会の実現、上越高田浄興寺大門通りスクエアを中心とした地域資源を活用した観光事業創造プロジェクトの推進および事業化を図ること等を目的に令和8年6月設立登記。大島グループ法人8社・グループ外法人4社計12社で構成、順次会員拡大予定。
- ・支援内容:大島グループに対しては、昨年度の東経連BCの本支援において、モニターツアーの実施による回遊ルートの造成、ブランドネーミング・ロゴの開発、ポータルサイトの構築等の基盤整備を行いました。その結果、域外からの誘客や昼間消費の増加、外部投資の動きなど、観光拠点としての成長が顕在化しています。

一方、さらなる成長に向けては、

- ・BtoB視察需要の取り込みによる新たな収益基盤の確立
- ・情報発信およびプロモーション体制の強化
- ・滞在時間および消費額の拡大に向けた回遊性の向上
- ・事業規模拡大に対応した持続的な運営体制の強化

といった課題への対応が求められています。

これらを踏まえ、今回の支援では主に以下の取組を実施します。

① マーケティング戦略支援

- ・BtoB視察ターゲットの設定および受入プログラムの設計
- ・商品化・価格設定およびモニタリングによるニーズ検証

② 販促・情報発信強化支援

- ・回遊を促進するグランドマップ等のツール制作
- ・ポータルサイトの機能強化および情報発信力の向上
- ・多言語対応等を含めた情報発信基盤のさらなる強化

これらの取組により、観光(BtoC)と視察(BtoB)の両面から誘客を図り、地域内での滞在価値の向上と継続的な収益モデルの構築を目指します。

15



<参 考>

Ⅰ.過去の支援案件の紹介

※過去支援事業の「マーケティング・知的財産事業化支援事業」および「マーケティング・成長戦略支援事業」を踏襲

①斎藤マシン工業(株)(山形県天童市/代表:阿部 光成 氏)

- ・支援テーマ : コンパクトな植物油用濾過装置のセールスおよびマーケティング支援
- ・支援期間 : 平成 23 年 7 月～平成 24 年 6 月

②(株)フラワート(秋田県由利本荘市/代表:嶋 真紀子 氏)

- ・支援テーマ : 世界初の“ジュエリング・フラワー (宝飾花)”のマーケティング支援
- ・支援期間 : 平成 24 年 1 月～12 月

③(株)四季菜(秋田県秋田市/代表:高橋 真木夫 氏)

- ・支援テーマ : 秋田産米粉を使ったスイーツの商品開発およびマーケティング戦略支援
- ・支援期間 : 平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月

④(株)味の加久の屋(青森県八戸市/代表:野田 一夫 氏)

- ・支援テーマ : 震災復興に向けた水産加工品のマーケティング戦略支援
- ・支援期間 : 平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月

⑤あおもり藍産業協同組合(青森県青森市/代表理事:吉田 久幸 氏)

- ・支援テーマ : 独自の染料化技術を核とするあおもり藍ブランド商品の開発およびマーケティング支援
- ・支援期間 : 平成 24 年 10 月～平成 25 年 9 月

⑥齋栄織物(株)(福島県伊達郡川俣町/代表:齋藤 泰行 氏)

- ・支援テーマ : 世界一薄い絹織物「妖精の羽(フェアリー・フェザー)」を使用した製品開発とブランディング支援
- ・支援期間 : 平成 24 年 10 月～平成 25 年 9 月

⑦武輪水産(株)(青森県八戸市/代表:武輪 俊彦 氏)

- ・支援テーマ : 「鯖スパイシーマリネ」新規販路開拓支援
- ・支援期間 : 平成 25 年 1 月～平成 25 年 12 月

⑧(株)佐渡乳業(新潟県佐渡市/代表:高橋 一五(かずゆき)氏)

- ・支援テーマ : ナチュラルチーズ&デザート在全国ブランディング支援
- ・支援期間 : 平成 25 年 4 月～平成 26 年 9 月

⑨アンデックス(株)(仙台市青葉区/代表取締役社長:三嶋 順 氏)

- ・支援テーマ : ソフトウェアパッケージ「SMART-Transport」の販売支援
- ・支援期間 : 平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月

⑩久慈琥珀(株)(岩手県久慈市/代表取締役社長:向 正彰 氏)

- ・支援テーマ : 久慈琥珀(株)のブランディング支援
- ・支援期間 : 平成 25 年 7 月～平成 26 年 6 月



⑪(有)二唐刃物鍛造所(青森県弘前市/代表取締役社長:吉澤 俊寿 氏)

- ・支援テーマ : 作刀技術・和包丁の海外向け新ブランド戦略支援
- ・支援期間 : 平成 25 年 10 月～平成 26 年 9 月

⑫(株)川喜(岩手県釜石市/代表取締役社長:川端 力 氏)

- ・支援テーマ : アルコールフリーで保存可能な“ヘルシー生そば”のブランド戦略支援
- ・支援期間 : 平成 25 年 10 月～平成 26 年 9 月

⑬農業生産法人(有)今野醸造(宮城県加美郡/代表取締役社長:今野 昭夫 氏)

- ・支援テーマ : 仙台味噌を用いた新しい調味料開発とそのブランド戦略支援
- ・支援期間 : 平成 25 年 10 月～平成 26 年 9 月

⑭(株)大武ルート工業(岩手県一関市/代表取締役社長:太田 義武 氏)

- ・支援テーマ : 「自動ネジ供給機」の販売網再構築と新規販路の開拓
- ・支援期間 : 平成 26 年 1 月～平成 26 年 12 月

⑮(有)峰の雪酒造場(福島県喜多方市/代表取締役社長:佐藤 利也 氏)

- ・支援テーマ : 蜂蜜酒「AIZU MEAD (アイズ・ミード)」のブランディング支援
- ・支援期間 : 平成 26 年 1 月～平成 27 年 3 月

⑯マルニ食品(株)(宮城県登米市/代表取締役:二階堂 玲子 氏)

- ・支援テーマ : 宮城県産小麦品種「あおぼの恋※2」による新商品開発支援
- ・支援期間 : 平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月

⑰合同会社ナチュール青森(青森県青森市/代表社員CEO:工藤 真義 氏)

- ・支援テーマ : 青森の厳選食材を使用したスイーツブランド
- ・支援期間 : 平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月

⑱(株)今井産業(青森県平川市/代表取締役:今井 公文 氏)

- ・支援テーマ : 青森県産材の杉・りんご樹の端材を活用した木質新素材「e・Wood+」の知的財産事業化支援
- ・支援期間 : 平成 26 年 7 月～平成 27 年 6 月

⑲(株)宮城化成(宮城県栗原市/代表取締役:小山 昭彦 氏)

- ・支援テーマ : 不燃性・光透過性を有する新規複合材のマーケティング
- ・支援期間 : 平成 26 年 7 月～平成 27 年 6 月

⑳非公開

㉑(有)みちのく福島路ビール(福島県福島市/代表取締役:吉田 重男 氏)

- ・支援テーマ : 福島県産原料等を使用した地ビールのマーケティング支援
- ・支援期間 : 平成 26 年 10 月～平成 27 年 9 月

㉒(株)杉田味噌醸造場(新潟県上越市/代表取締役:杉田 文子 氏)

- ・支援テーマ : 伝統と技術を活かした味噌製品のリニューアルと新製品開発によるマーケットブランドの事業化
- ・支援期間 : 平成 27 年 1 月～平成 28 年 12 月



②③大島グループ(株)宇喜世ほかグループ企業 10 社(新潟県上越市/代表:大島 誠 氏)

- ・支援テーマ : 北陸新幹線着地マーケットに対する「百年料亭宇喜世」を核にした地域産品・観光回遊の事業化
- ・支援期間 : 平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

②④農業生産法人(有)伊豆沼農産(宮城県登米市/代表取締役社長:伊藤 秀雄 氏)

- ・支援テーマ : 地域資源を活用した伊豆沼食農体験ファーム新事業展開支援
- ・支援期間 : 平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

②⑤(株)いわきチョコレート(福島県いわき市/代表取締役:柳沼 大介 氏)

- ・支援テーマ : めひかり塩チョコなど既存商品販路の再構築戦略と販路ターゲットを明確にした新商品の開発支援
- ・支援期間 : 平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

②⑥佐渡乳業(株)(新潟県佐渡市/代表取締役社長 竹内 秀明 氏)

- ・支援テーマ : 農場ナチュラルチーズの直販体制の強化とブランディング支援
- ・支援期間 : 平成 27 年 7 月～平成 28 年 3 月

②⑦久慈琥珀(株)(岩手県久慈市/代表取締役社長 向 正彰 氏)

- ・支援テーマ : リファインド・アンバー(精製琥珀)による新製品デビューを機にしたブランディング支援
- ・支援期間 : 平成 27 年 7 月～平成 28 年 3 月

②⑧(株)磐城高箸(福島県いわき市/代表取締役 高橋 正行 氏)

- ・支援テーマ : おめでた箸および派生製品のブラッシュアップと拡販支援
- ・支援期間 : 平成 27 年 7 月～平成 28 年 3 月

②⑨(株)ツガルサイコー(青森県黒石市/代表取締役 福士 拓弥 氏)

- ・支援テーマ : 津軽の観光資源を活用した外国人観光客の誘客支援
- ・支援期間 : 平成 27 年 7 月～平成 28 年 3 月

③⑩中村物産(有)(宮城県仙台市/代表取締役 中村 拓造 氏)

- ・支援テーマ : 地盤置換工法「コロンブス」マーケティング支援
- ・支援期間 : 平成 27 年 7 月～平成 28 年 3 月

③⑪IMTエンジニアリング(株)(新潟県妙高市/代表取締役 富田 ゆきし 氏)

- ・支援テーマ : 「妙高ゆきエビ」のマーケティング戦略およびブランド構築支援
- ・支援期間 : 平成 28 年 8 月～平成 29 年 7 月(12 カ月)

③⑫(株)ティ・ディ・シー(宮城県宮城郡利府町/代表取締役社長 赤羽 優子 氏)

- ・支援テーマ : 超精密研磨技術の加速器分野への展開を目指すマーケティング支援
- ・支援期間 : 平成 29 年 1 月～平成 29 年 12 月(12 カ月)

③⑬(株)シオン(岩手県紫波郡矢巾町/代表取締役 石川 公一郎 氏)

- ・支援テーマ : 世界初・塗るだけで防炎塗膜化する木部専用国産自然塗料のマーケティング支援



・支援期間：平成29年4月～平成30年3月（12カ月）

③④まるい食品(株)（山形県鶴岡市/代表取締役社長 伊藤 久美 氏）

・支援テーマ：山形県産こんにゃく芋をまるごと使った

新スタイルこんにゃくデリカのシリーズ開発と販売に向けた事業化支援

・支援期間：平成30年1月～平成30年12月（12カ月）

③⑤(株)空地音ハーモニー（宮城県仙台市/代表取締役 菊池 美鷗 氏）

・支援テーマ：世界遺産を核としたプレミアムウェディング・ツーリズム『みちのく和婚®』のコーポレートブランディングと連携・波及事業化

・支援期間：平成30年5月～平成31年4月（12カ月）

③⑥(有)三陸とれたて市場(岩手県大船渡市/代表取締役 八木健一郎 氏)

・支援テーマ：「三陸の海産物の美味しさを封じ込め」安定して届ける取組み
～地域の稼ぐ力を高める付加価値型のビジネスモデルの提案～

・支援期間：令和元年9月～令和2年8月（12カ月）

③⑦(株)アクトラス(秋田県横手市/代表取締役 眞田 慎 氏)

・支援テーマ：医理工連携プロジェクト「患者見守りシステム」の普及拡大
～秋田県が抱える課題解決に向けた取組みから開発された新システムを
全国に広める～

・支援期間：令和2年2月～令和3年1月（12カ月）

③⑧(株)肉のふがね(岩手県岩手町/代表取締役 府金 伸治 氏)

・支援テーマ：希少銘柄「いわて短角牛」の高付加価値化および地域と連携した稼ぐ畜産
モデルの構築

・支援期間：令和2年4月～令和3年3月（12カ月）

③⑨元正榮北日本水産(株)(岩手県大船渡市/代表取締役社長 古川 季宏 氏)

・支援テーマ：国内最大級養殖場での「クリーン海水掛け流し」&「無添加飼料」による
極上エゾアワビ ～三陸発・完全陸上養殖システムを活かした“安心・安全・安定”リテール供給事業～

・支援期間：支援期間：令和2年7月～令和3年6月（12カ月）

④⑩上越ケーブルビジョン(株)(新潟県上越市/代表取締役社長 齋藤 俊幸 氏)

・支援テーマ：東京交通会館への全国初民間直営アンテナ ショップ『雪國商店』新設を
核とした「放送通信 事業+地域商社」による上越妙高地域製品の 首都圏
ダイレクト販売ビジネスモデルの確立

・支援期間：令和2年11月～令和3年12月（14カ月）

④⑪(株)カネク醸造(青森県八戸市/代表取締役社長 山形 琢一 氏)

・支援テーマ：モノづくり産業から食産業へ、第二創業＝「地域連携・資源活用」による
八戸初のクラフトビール開発とブランド確立

・支援期間：令和3年7月～令和4年6月（12カ月）



④②(有)ファーム・ソレイユ東北(宮城県石巻市/代表取締役 日野 雅晴 氏)

- ・支援テーマ：地域連携・事業継承・自社工場新設による商用北限・桃生茶の和紅茶全国展開
- ・支援期間：令和4年4月～令和5年3月（12カ月）

④③(株)亀山鉄工所(宮城県仙台市/代表取締役 平川 章 氏)

- ・支援テーマ：宮城バリューチェーンによる非接触型三次元ボールミル&シェーカー「HYPER SHAKER」の新事業開発
- ・支援期間：令和4年4月～令和5年3月（12カ月）

④④(株)グリーディー(宮城県仙台市/代表取締役 濱出 理加 氏)

- ・支援テーマ：地産地消から地産来消・地産外商へ～東北素材を活用したアメニティ新事業ブランディング
- ・支援期間：令和5年10月～令和6年9月（12カ月）

④⑤(株)ミューラボ(福島県福島市/代表取締役社長 伏見 雅英 氏)

- ・支援テーマ：小型精密減速機の成熟市場に「堅牢・高トルク」のブランディングで風穴を開ける
- ・支援期間：令和6年1月～令和6年12月（12カ月）

④⑥(株)山形ミートランド(山形県寒河江市/代表取締役 大沼 幸仁 氏)

- ・支援テーマ：高品質交雑牛「幸生牛」の中華圏等への展開に向けた輸出トライアル支援
- ・支援期間：令和6年7月～令和7年6月（12カ月）

④⑦ハリウコミュニケーションズ(株)(宮城県仙台市/代表取締役 針生 英一 氏)

- ・支援テーマ：レーザーカット付加価値商品の自社ブランド開発による次世代新事業の確立
- ・支援期間：令和7年3月～令和8年2月（12カ月）

④⑧大島グループ(新潟県上越市/代表 大島 誠 氏)

- ・支援テーマ：上越の“稼ぐ力”を上げる！地域連携による滞在型観光交流エリア「浄興寺大門通りスクエア」事業開発
- ・支援期間：令和7年4月～令和8年3月（12カ月）

④⑨(株)アルファテック(山形県米沢市/代表取締役 駒井 雄一 氏)

- ・支援テーマ：製菓・製パン市場におけるグルテンフリー・定番アルファ化米粉の地位獲得に向けた『Amorfast(アモルフファスト)®』米粉早期ブランド化
- ・支援期間：令和7年10月～令和8年9月（12カ月）（予定）

⑤⑩(株)平野屋(山形県長井市/代表取締役社長 平 浩一郎 氏)

- ・支援テーマ：山形名物「玉こん®」の新ブランド開発とデファクトスタンダード化を目指す
- ・支援期間：令和8年3月～令和9年年2月（12カ月）（予定）



II. 東経連ビジネスセンターの概要(平成 23 年4月設立)

1. 目的

東北 7 県の産学官＋金融が総力をあげて、新しい東北「産学官グローバル・イノベーション・ゾーン東北の創生」に取り組み、東北の高い技術力や優れた地域資源を活かして新製品開発等に挑戦し、雇用増等、地域経済にインパクトを与え、成長モデルとなり得る企業・事業の創出を図る。

2. 活動期間 15 年間(平成 23 年 4 月～令和 8 年 3 月)

3. 組織形態 東北 6 県および新潟県の支援機関、大学研究機関、大手企業を会員とする任意団体

4. 活動経費 年間 1 億円程度

5. 事務局所在地 東経連事務局内(宮城県仙台市)

6. 主な事業内容

- (1) 国際競争力の高い地域イノベーション拠点の形成強化
- (2) 産学官金共創・デジタル化による成長促進
- (3) 世界最先端研究開発プロジェクト(放射光、ILC 等)の誘致を契機とした次世代に繋がる新産業の創造

III. マーケティング・セールス戦略支援事業

1.



- ・ 異業種連携による新たな価値創出
- ・ 大学等の研究シーズの事業化
- ・ デジタル化・DX 推進による新事業創出 等

4. 主な支援内容

事業課題に応じ、以下 7 分野から最適な支援チームを編成します。

- ① マーケティング戦略立案・実行支援
- ② ブランディング支援
- ③ 営業販促ツール・ホームページ強化支援
- ④ セールス戦略支援（販路開拓等）
- ⑤ 知的財産戦略支援
- ⑥ 法務支援（契約等）
- ⑦ ファイナンス戦略支援

なお、これら支援に係る専門家費用（調査費・デザイン費等）は、一定額まで当センターが負担します。

5. 支援期間・支援額

- ・ Pre 支援：最大 12 か月、上限 100 万円
- ・ 本支援：12 か月、上限 200 万円

6. 観光事業特別支援枠の特徴

観光事業は、関係者が多く成果創出までに時間を要する特性を有するため、本支援の特例として以下の仕組みを設けています。

- ・ インバウンドや富裕層等をターゲットとした観光事業を対象
- ・ ブランディング、PR、商品設計等のマーケティング・セールス支援を重点実施
- ・ 1 年単位で最長 3 年間の継続